

予算質疑をピックアップ

私たちの税金、ムダなく効率的に活かされるか

歳入

問 町たばこ税4億3,000万円前年度より8,400万円増の理由は。

税務課長 22年10月の大幅な値上げを受け、23年度は7,400万本前年比1,800万本近く下げて計上したが、実際には減少がなかったため、24年度は実績で計上した。

問 長い景気低迷の中、法人町民税の6,400万円増の理由は。

税務課長 23年度、法人税割ゼロ円の会社が申告納税した事例もあり、24年度は大幅増額を見込んだ。

防災

問 新たに作成される防災マップはどのようなものか。

地域課長 土砂災害や洪水などの危険個所を表示した地図に、広域避難場所のほか、消火栓やAEDの設置場所、防災の倉庫なども載せ、情報がわかりやすい防災マップとする。

問 旧庁舎の耐震対策は。

管財課長 耐震診断を実施する。その結果を受けて、耐震補強その他、検討していきたい。

環境

問 住宅用環境配慮型機器購入助成費を30万円増額しているが。

環境課長 23年度より若干台数を増やし、二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器50台、潜熱回収型給湯器15台、太陽光発電システム30台を見込む。

問 庁舎の照明改修工事費1,200万円の内容は。

管財課長 庁舎内の照明をLED化するものである。24年度は議場、玄関周辺とロビーなどを計画している。効果を検証し、拡大していきたい。

問 予算策定に際し、経費など、どのように精査したのか。

企画課長 経費はゼロシーリングを基本として検討し、各課併せて消耗品費は約650万円、通信運搬費などで約200万円削減できた。

教育

問 不登校対策の強化策は。

指導課長 臨床心理士の資格を持つ相談員を2名増配し、現行週2回から3回に教育相談を増やし、相談体制を強化する。

問 校外学習補助金が207万2,000円増額になっているが。

指導課長 小学校の臨海学校において、JRの団体貸し切りがなくなり、バスでの移動となる。そのため費用が高くなり、保護者負担を増やさないようその分の補助金を増額した。

問 24年度、シクラメンスポーツ公園で東京国体のリハーサル大会が行われるが。

社会教育課特命担当主幹 選手が約190名、役員が220名、観客は750名、全体で1日約1,200名を見込む。瑞穂の産業あるいは環境、観光に触れていただくよう様々な催し物や物品販売などを考えている。



二中北側に新しく整備されたシクラメンスポーツ公園

行政改革

まちづくり

問 モニュメントの設置事業の内容は。

都市計画課長 箱根ヶ崎の狭山池には、蛇喰い次右衛門の石像。殿ヶ谷の玉林寺公園には、村山土佐守のブロンズ像を設置予定。

問 都市農業経営パワーアップ事業補助金で、どういった内容の支援をするのか。

産業課長 申請者は3名。パイプハウスを5棟ならびに暖房機1基を設置する。端境期におもにトマト、キュウリ、ホウレンソウ、小松菜といった野菜をつくる計画。

問 大多摩B級グルメ事業費の内容は。

産業課長 「多摩げた食の祭典大多摩B級グルメ」事業が5月26日・27日に、サマーランド駐車場（あきる野市）で行われる。町内からは、「瑞穂もつ焼きうどん」と「瑞穂キムチ焼き肉ドッグ」二つの商品を出品予定。町は、のぼり旗、エプロン、販売促進用の看板などを支援する。



産業まつりで出品された瑞穂B-1メニューのブース

健康

問 大腸がん検診の新たな取り組みの内容は。

健康課長 40歳から60歳までの5歳刻みの方を対象に、無料クーポンを同封した個別通知を出し、より広く受診していただく趣旨で実施する。

福祉

問 福祉バスの運行が一年経過したが、利用者からの意見も聞き改善すべきと考えるが。

高齢課長 1年間の実績により、今後の利用改善に向け、運営委託している社会福祉協議会と担当課で利用者の意見を聞く場を考えたい。

問 地域見守りマップは改善されたのか。

高齢課長 高齢者の一人暮らし、介護世帯、障がい者、妊婦の方々などの情報を紙ベースからパソコンの地図上で一括して見られるようにし、支援に繋げたい。

問 高齢者の緊急短期入所事業の内容は。

高齢課長 高齢者の体調管理などご家庭での生活が困難になった方や虐待を受けている方などを対象として、短期間、契約した特別養護老人ホームに入所できる事業。一回につき7日間を目途として考えている。

問 学童クラブの待機児童対策のランドセル来館事業は何カ所予定しているのか。

福祉課長 一小地区の生涯学習センター、五小地区の寿楽、二小地区の長岡会館、新たに四小地区に武蔵野防災会館の4カ所を考えている。



武蔵野防災会館